

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：特別支援教育振興費

事業名 医療的ケア児校外学習充実事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

特別支援教育課 特別支援教育企画係 電話番号：058-272-1111 (内 3554)

E-mail：c17783@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,658 千円 (前年度予算額：1,800 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,800	304	0	0	0	0	0	0	1,496
要求額	1,658	312	0	0	0	0	0	0	1,346
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・医療的ケアが必要な児童生徒が参加する校外学習及び校外行事(泊を伴う教育活動、修学旅行)には保護者付添を依頼しているため、保護者の負担が大きい。
- ・児童生徒の自立と社会参加を促す観点からも、保護者付添の軽減の要望有(長良特別支援学校・岐阜希望が丘特別支援学校の保護者との医療的ケア意見交流会、岐阜県重症心身障害児(者)を守る会)
- ・緊急時の対応や安心・安全な医療的ケア実施の担保が必要
- ・校外学習等の安心安全な実施には、綿密な計画立案(行き先、活動内容、教職員と看護師との連携等)が必要

(2) 事業内容

校内医療的ケア実施体制の整備(学校教育が安心・安全に行える体制の整備)

- ・特別支援学校9校を実施校に指定(岐阜希望が丘特別支援学校、関特別支援学校、羽島特別支援学校、揖斐特別支援学校、可茂特別支援学校、郡上特別支援学校、飛驒特別支援学校(本校、高山日赤分校)、飛驒吉城特別支援学校)
- ・日常的に医療的ケアが必要な児童生徒が、校外学習・校外行事(泊を伴う教育活動)に参加する場合に看護師を派遣(保護者付添いの負担軽減)

- ・ 医療的ケアが必要な児童生徒の自立と社会参加の推進

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 医療的ケアのための看護師配置事業（切れ目ない支援体制整備充実事業）
国庫補助率 1/3

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅 費	772	看護師交通費(656)指導医 (116)
報 償 費	198	指導医謝金
使 用 料	406	介護タクシー代
保 険 料	282	看護師賠償責任保険料
合 計	1,658	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県教育ビジョン

(2) 国の状況

- ・ 「学校における医療的ケアの今後の対応について（通知）」（平成 31 年 3 月 20 日 30 文科初第 1769 号文部科学省初等中等局長）
校外学習における医療的ケアの実施については、教育委員会及び学校は、児童生徒の状況に応じ、看護師等による体制を構築すること。
- ・ 「公立特別支援学校に在籍する医療的ケアを必要とする幼児児童生徒の 学校生活及び登下校における保護者等の付添いに関する実態調査（送付）」（平成 29 年 4 月 7 日事務連絡文部科学省初等中等局特別支援教育課）
スクールバス乗車中における医療的ケアの実施の要否など主治医の意見を踏まえながら、個別に対応可能性を検討し判断

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

医療的ケアが必要な児童生徒が通学する特別支援学校（実施校）において、校外学習及び校外行事（泊を伴う教育活動）に看護師を派遣し、安心安全に校外学習等を実施できるように検証する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

校外学習等に看護師を派遣し医療的ケアを実施することが事業内容であり、指標の設定になじまない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、校外学習が実施できず検証ができなかった。
- ・指導医の参加のもと実施検討会を行った学校があった。

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、校外学習が実施できず、検証ができなかった。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療的ケアが必要な児童生徒の自立や社会参加の推進につながる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療的ケアが必要な児童生徒の自立と社会参加を推進することができた。 ・ 保護者の負担軽減につながっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) △	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心安全に校外学習を実施するための、計画立案、教職員と看護師との調整方法等の確立が必要。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・ 安心安全に校外学習を実施するための、計画立案、教職員と看護師との調整方法等の確立。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・ 実施校を9校に増やし、課題解決にむけて検証をする。 ・ 来年度医療的ケア実施校の15校に拡大する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	会計年度任用職員（特別支援学校医療的ケア非常勤専門職）【教職員課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	看護師の person 費を上記事業で措置。事業費を本事業で措置する。